

電話機対策や家族の絆で詐欺被害は防止できます！

防犯・交通安全課

Tel 224-5721
Fax 224-6705

オレオレ詐欺などの特殊詐欺の手法は、年々巧妙化しています。新型コロナウイルス接種に便乗した不審電話も確認されています。「私の両親は大丈夫」「自分はだまされるはずがない」と思っていますか？ 誰でも被害に遭う可能性があります。被害に遭わないためには、「犯人と話す機会を作らない」電話機対策や、家族と頻繁に連絡を取り合い、相談しやすい環境づくりなどの対策をすることが大切です。

最近の手法

最近増加している特殊詐欺の手法を紹介します。

新型コロナウイルス感染症に便乗した手法

●新型コロナウイルスに便乗し、ワクチン接種や給付金に関して、予約や接種をするための料金、手数料などを理由にお金をだまし取る手法です。

新型コロナウイルスワクチン接種は無料です。接種に関して、料金を請求することはありません。

また、給付金に関して、市役所などの公的機関が、ATMの操作をお

願いすること、手数料の振込みを求めること、クレジットカードや預金通帳をお預かりすることは、絶対にありません。

このような電話があった時は、慌てずいったん電話を切り、警察へ通報しましょう

親族を名乗り、現金をだまし取る手法

●「おれ、おれ」などと肉親を装って電話をかけ、肉親と思い込んだ被害者に、「会社のお金を使い込んだ」「副業で赤字を出した」「異性との手切れ金」などを理由にお金をだまし取ります。

警察官や弁護士、消費者金融会社の担当者になりすまし、「交通事故の

示談金」や「借金の返済」を理由にお金をだまし取ることもあります。

税金などの還付金を理由にATMを操作させ、預金等を振り込ませる手法

●市職員や金融庁職員、税務署員などになりすまし、医療費や税金、保険料などについて、「還付金があります。期限が迫っていますので、いますぐATMに行ってください。操作すれば、現金で還付できます」

などといい、携帯電話で連絡を取りながら、言葉巧みに被害者にATMを操作させ、被害者の口座から犯人の口座に送金させます。

市内の被害状況

昨年の県内の特殊詐欺被害件数は、令和2年から増加していて、市内についても被害金額こそ減少したものの、被害件数は増加しました。特殊詐欺の予兆電話の件数（市民から警察への不審電話の情報提供の数）も高水準で推移しています。

市内の特殊詐欺被害件数、予兆電話件数は、依然として県内でも上位にあります。犯人が市民の皆さんの財産を狙っていることは間違いないので、注意しましょう。

市内の特殊詐欺被害認知件数

年	被害件数	被害金額
R2	43件(県内ワースト4位)	1億2664万円
R3	45件(県内ワースト4位)	6470万円

* R3は暫定値

キャッシュカードに切り込みを入れる手口

●警察官や金融機関の職員になりすまし、「口座が犯罪に使用されている」「カードが使用出来なくなっている」などと言って暗証番号を聞き出し、自宅を訪れた警察官や金融機関の職員になりすました犯人が、キャッシュカードを使用できなくするなどと言って、キャッシュカードに切り込みを入れて持ち去ります。キャッシュカードは、ICチップの部分が切れていなければ使用できますので、キャッシュカードを持ち去った後、聞き出した暗証番号を使って預金等を引き出します。

最大の対策は「犯人と話さないこと」

特殊詐欺は、ほとんどが犯人との会話から始まります。被害防止の最大の対策は、犯人と話をしていないことです。被害を防止するため、「犯人と話す機会を作らない」電話機対策や家族との相談しやすい環境づくりをしましょう。

対策① 留守番電話機能

まずは電話の設定を、呼び出し音が3秒ほど鳴った後に留守番電話につながるようにしなすう。詐欺の犯人は自分の声が録音されるのを嫌うので、この時点で電話を切ることがほとんどです。用件のある人は留守番電話にメッセージを残します。メッセージを録音しているのが知人であれば、録音している間に応答すれば通話できます。



が3秒ほど鳴った後に留守番電話につながるようにしなすう。詐欺の犯人は自分の声が録音されるのを嫌うので、この時点で電話を切ることがほとんどです。用件のある人は留守番電話にメッセージを残します。メッセージを録音しているのが知人であれば、録音している間に応答すれば通話できます。

ポイント 電話機の呼び出し音が鳴ってもすぐに応答しないこと

対策② 電話番号表示サービスや迷惑電話防止機能の利用

電話会社と電話番号表示サービスの利用契約をしている方は、電話機の呼び出し音が鳴ってもすぐに応答せずに、かけてきた電話番号を必ず確認しましょう。

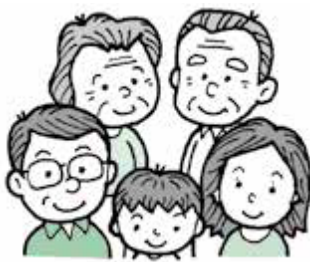


電話機に電話番号の登録があれば登録された名前が表示されますので、非通知や登録のない電話番号には応答しないようにしましょう。

また、家電量販店で販売されている家庭用電話機のほとんどに迷惑電話防止機能が付いています。この機能を利用すると、犯人と話す機会を減らすことができます。

対策③ 家族の絆で犯人撃退

普段の家族間の連絡頻度や共有する情報、信頼関係等がオレオレ詐欺などの特殊詐欺の被害防止と密接に関係しています。高齢者の子や孫世代にあたる方は、合い言葉や電話での呼び方を決めたり、普段から家族と連絡を取り合いましう。また、息子(孫)だけでなく、警察官や金融機関の職員などを装うこともあるので、気軽に相談しやすい環境を作るなどの家族の絆を大切にされた対策をすることも重要です。



ポイント 家族と連絡を取り合い、何でも相談できる環境づくりをする

市内の特殊詐欺予兆電話件数	年	件数
R3		531件 (県内ワースト2位)
R2		589件 (県内ワースト2位)

* R3は暫定値

登録しませんか？

「小江戸川越防犯のまちづくり情報」メール配信サービス

市では、防犯のまちづくり推進事業の一環として、特殊詐欺や不審者等の犯罪発生・防犯情報を無料で配信しています。右下の2次元コードを読み取るか、登録用メールアドレス (kawagoe_ml@sg-m.jp) を入力して空メールを送信し、その後届く「仮登録完了のお知らせ」に従って本登録をしてください。なお、インターネット接続やメールの受信等に掛かる費用は、利用者の負担になります。

